



7/23 文芸 (しもだて地域交流センター) 7/27～30 美術 (市文化ギャラリー・コミュニティプラザ) 7/30 芸能 (市民会館)

## 文化協議会が第1回筑西市芸術祭を開催

7月、筑西市文化協議会(会長=神原栄二さん)と市教育委員会が主催する第1回筑西市芸術祭が開催され、文化協議会に加盟する各団体の会員が、日ごろの修練の成果を披露しました。

### 【文芸部門参加団体】

しもだて短歌会／関城文芸／つくばね文化河の会／下館俳句会

### 【美術部門参加団体】

アートグループ下館／関城墨水会／美術会／書遊会蘭契社／書道連合会／書遊会／下館写真連盟／下館手芸研究会／手あみサークル／和紙押絵あじさいの会／ちぎり絵／あやなす編み物会／白萩会

### 【芸能部門参加団体】

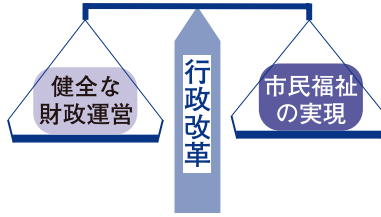
筑西市下館民謡連合会／明野民謡連合会／民舞・新舞踊連絡協議会／神山芳子バレエスクール／羽田モダンバレエ研究所／下館吟詠剣詩舞連合会／筑西市下館三曲協会／日本舞踊連合会／あけの歌謡連合会／協和地区歌謡連合会／明野ハワイアンクラブ／大正琴の会／大正琴紫陽花の会





Vol.2  
行政改革大綱と集中改革プラン  
で進める筑西市の行政改革

市が目指す行政改革は、市民福祉実現と健全財政確立を両立させた、力強い筑西市づくりです。そのため、昨年の『集中改革プラン』に続き、今年『行政改革大綱』を策定します。



市にとって、真に必要なものを見極めて

行政改革は、市が行っている行政運営を、全面的に見直し、効率的で効果的な行政経営が行えるように取り組むものです。行政改革に取り組む理由は、危機的状況にある財政を立て直すことです。しかし、無駄遣い

中学生が市役所で職場体験学習



7月26日、関城中学校と明野中学校の2年生が、市役所で職場体験学習を実施。これは、進路指導の一環として各中学校が毎年実施しているもので、明野中の3人（写真上）は取材活動など「広報筑西」作成の模擬体験を、関城中の3人は市内パトロール体験などを行いました。

市の木『さくら』の写真展を開催



7月31日から8月25日まで、市役所本庁舎と各支所の会場を巡回し、市の木『さくら』写真展を開催しました。同展は、市内にある桜や桜のある風景を対象に作品を募集したもので、市内外の22人から40点の作品が寄せられました。

道路ふれあい月間にあわせて美化清掃活動



8月10日、市と筑西土木事務所は、茨城県建設業協会筑西支部と建設ボランティア下館の協力を得て、市内主要道路の美化清掃活動を行いました。146人、ダンプカー51台が参加し、集めたごみ622袋などを環境センターに運びました。

をしないので、支出を抑えることだけが理由ではありません。市民にとって真に必要なのは何かを見極め、改革を進めることが必要です。限られた行政資源を有効に使い、どうすれば市の責任を果たし、市民福祉を実現できるか、行政と市民が知恵を出し合いながら総合的に進めるのが行政改革です。

市は、市民福祉実現と健全財政の両立を図るため、『市民協働の推進』『行政経営の推進』『財政構造の健全化』を柱に、徹底した改革を進めています。

改革項目を達成させ  
市民福祉の充実を図る

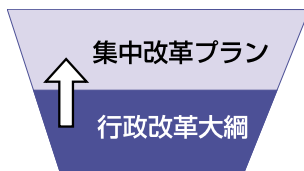
行政改革を進めるとき、その

指針となるのが『行政改革大綱』と『集中改革プラン』です。

『行政改革大綱』は、行政改革に対する取り組みの方向性を示した基本方針で、一方、今年3月に公表した『集中改革プラン』は、行政改革の基本方針を実現させるための具体的な取り組みと目標を示した計画です。

行政改革実現のため、『集中改革プラン』で示した改革項目達成に全職員が取り組みます。

※集中改革プランは、ホームページ、行政推進課のページからご覧ください。



合併と行政改革

筑西市は、昨年3月に合併して誕生しました。厳しい財政状況にあった各市町は、市民福祉を充実させるため合併したのです。

合併は、一つの行政改革です。合併することで、4つの市町で重複する業務の統合を図ることができ、職員の削減が可能となりました。

しかし、地方交付税が削減されたことで、市の財政は、非常に厳しい状況にあります。そのため、今後行政改革を進め、市民福祉の充実を目指します。